

事例 1-1

農地開発「益田地区」と西石見広域農道を結ぶ

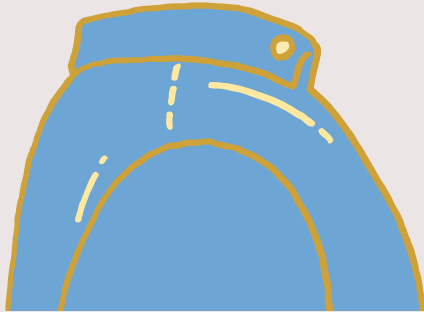
～一般農道整備事業「松原地区」～

[益田市]



【地区の概要】

事業年度	平成1年度～平成11年度
事業費	594,766千円
施工延長	1,115m
幅員	有効幅員5.5m 全幅員7.0m



本地区は益田市の北西部に位置する農業地帯であり、国営農地開発事業で造成された大生産団地(高津工区)を主な受益地とし、輸送の合理化等による地域農業の振興を図るため、西石見地区広域農道とを結ぶ基幹農道として整備を進め、平成11年度に完成しました。

[農道の整備による営農の向上]

本農道は広域農道と連携して輸送の効率化を図ることなどにより、農地開発地を中心とする生産団地育成の一翼を担い、特に以下の様な効果を発揮しています。

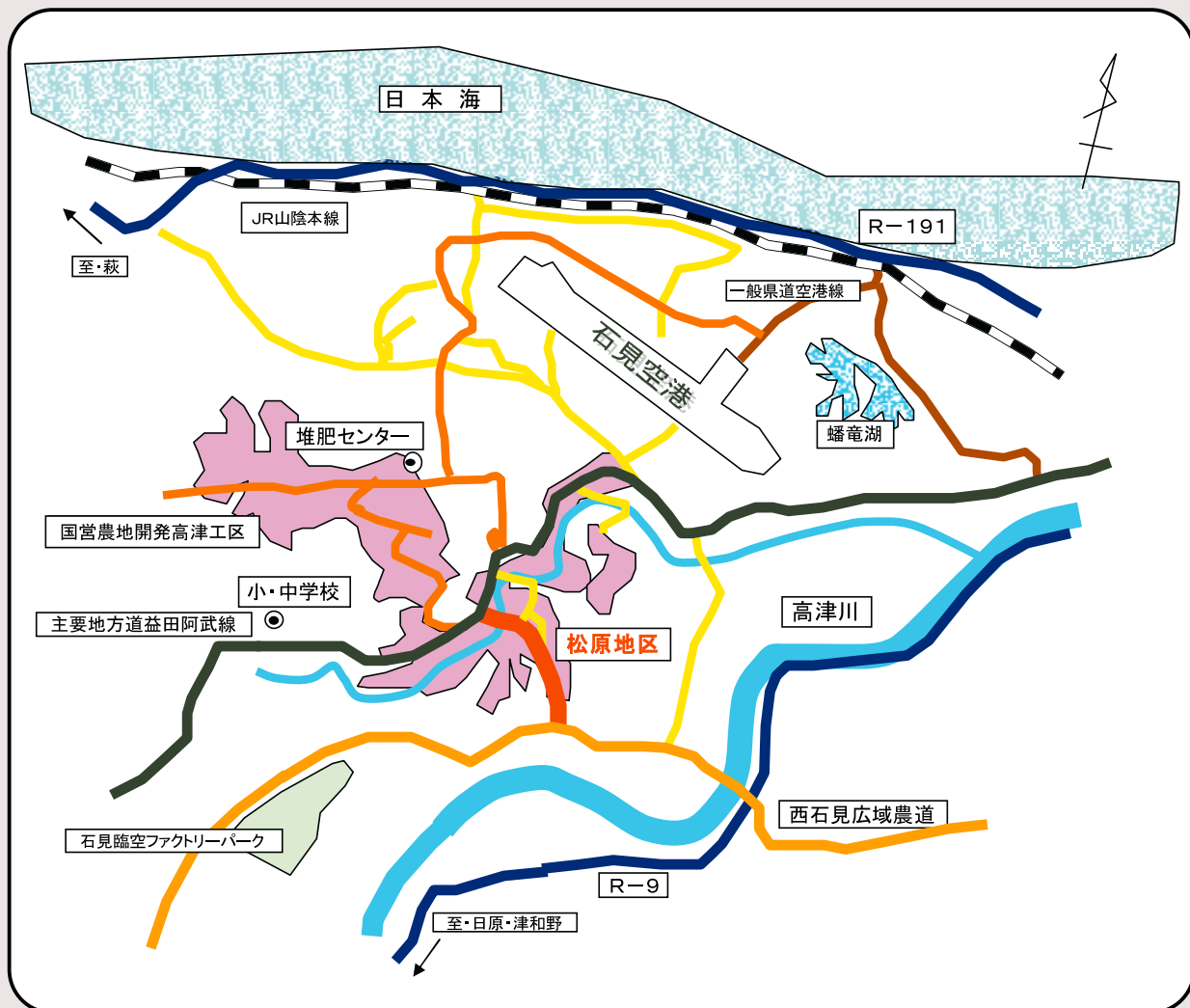
1. 近郊の畜産団地と開発地内に整備された堆肥センター、そして堆肥センターと農家が本農道及び広域農道で結ばれ、有機・循環型農業が推進されています。
2. 開発地内で収穫されたケールを、広域農道沿いに整備された石見臨空ファクトリーパーク(H8年度完成)内のキュ-サイへの運搬や、さらに加工された青汁の山陽、九州市場への出荷に利用されています。



ファクトリーパーク内のキュ-サイ工場



農地開発地内のケール収穫



[農道の整備による生活環境の改善]

1.平成5年に完成した石見空港への益田市南西部、日原、津和野町方面からのアクセス道路として、時間短縮が図られることから利用率の向上に役立っています。

	整備前(分)	整備後(分)	短縮(分)
益田市横田町	25	15	10
日原町日原	40	30	10
津和野町後田	60	50	10

2.道路周辺の集落から小中学校への通学時間の短縮が図られる様になりました。